

## 世界の肥料市場はイスラエル・ハマス戦争にもかかわらず回復の見込み

The Packer 2023年10月24日

ラボバンク(オランダの金融機関)の最近のレポートによると、いくつかの課題と潜在的なリスクを監視する必要があるものの、世界の肥料市場の今後数年間の見通しは前向きである。世界の肥料市場は様々な課題により2022年に7%縮小した後で回復傾向にあり、2023年には約3%の使用量の増加が見込まれている。最近のイスラエルとハマスの戦争による混乱については、現段階では肥料市場への影響は軽微と見られている。

## アフォーダビリティ指数は、2024年の肥料購入の前向きな見通しを示している

同レポートは、2024年の肥料購入の前向きな見通しを強調しており、5%近い増加を見込んでいる。ラボバンクのブルーノ・フォンセカ農業投入資材担当上級アナリストは、「これらの数字は、1年前よりも肥料購入の条件がかなり良くなっていることを示す当社のアフォーダビリティ(購入可能性)指数と一致している」として、「指数の動きは、2023年の肥料使用量に関する我々の増加予想 - 窒素2%、リン酸塩3.9%、カリ5% - を裏付けている」と述べた。



## 窒素肥料の市場は課題があるが、カリ、リン酸塩市場の見通しは前向き

窒素市場はトウモロコシと小麦の生産者の需要が減少するという課題に直面しているが、カリとリン酸塩の見通しは前向きである。

フォンセカ氏は、「欧州で冬が近づくにつれ、天然ガス市場の不確実性が高まり、それに伴って窒素肥料の製造コストにも不確実性が生じている」と説明する。穀物市場と油糧種子市場も不確実性に直面しており、ブラジルと米国では数回の豊作の後、エルニーニョ現象が目前に迫っている。

一方、カリ市場は供給の潤沢な時期を迎えており、またリン酸塩市場は中国からのリン酸一アンモニウム(MAP)及びリン酸二アンモニウム(DAP)の輸出の回復により拡大傾向にある。

## イスラエルとハマスの戦争は世界の肥料市場に影響を与える可能性があるが、現在のところその影響は限定的と見られている

報告書はまた、最近のイスラエルとハマスの戦争が世界の肥料市場に与える潜在的な影響に注目している。イスラエルはリン酸塩とカリのかんりの輸出国であり、世界のリン酸塩輸出の約3%、カリ輸出の8%を占めている。輸出の混乱は価格の高騰を引き起こす可能性があり、この紛争により船舶の運航会社がイスラエル地中海岸のアシュドッド港に近づくのを避け、物流の遅延と物流コストの増大を招く可能性がある。

これらの潜在的なリスクにもかかわらず、肥料市場への影響は現段階では軽微と見られている。フォンセカ氏は、「イスラエルで物流が混乱した場合にも、世界の肥料市場にはカリ・リン酸塩肥料の十分な代替供給源があり、十分な入手可能性がある」と述べた。

出典: [rabobank.com](http://rabobank.com)